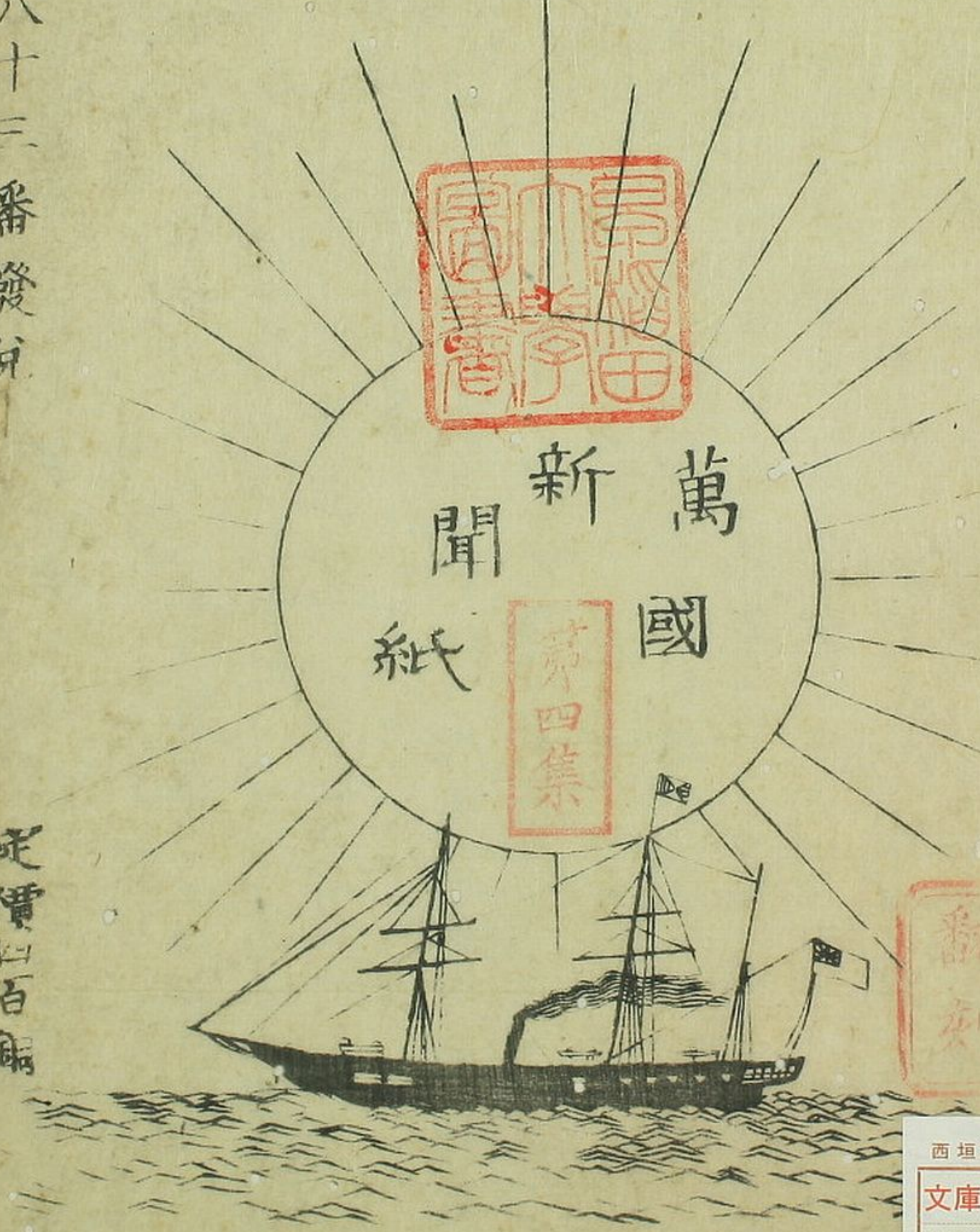


曆應三年五月下浣

橫濱八十三番發兌

英國教師ベリッ先生編



定價四百銅

西垣文庫  
 文庫10  
 7368  
 3

西垣文庫  
 翻不刻許



凡例

此の新聞紙も日本の諸君子、萬國の事情を告げ、  
日本の開化を事、速くして今有志の諸子萬國、  
官許の事、實に余輩の慶を所り、此時、當て諸君子萬國、  
情を通る、實に余輩の慶を所り、此時、當て諸君子萬國、  
毎月二三回飛脚船の新聞を得るや否自ら、  
此新聞、諸人の報告を集めて編る者故、其報告間、  
説の確るや否を知らざる者あり、雖も編者は、  
諸君若し、殊説奇談を聞、本村通百、  
告る、然れ、自ら、此の新聞紙、  
飛脚船到着次第、外國諸物價の相場、  
横濱市中物價相場も、  
巻末に横濱新聞と、  
附、  
限、  
百番拙宅、

日本人の好で本國の歴史と讀之迄頃、至て、  
とら小因て新聞紙出版の度、  
大英國史

第一編

往昔「アリア」紀元前五十五年

日本 崇神天皇 四十二年

數百年前、英國、都て樹木繁茂して、  
猪の住やらの、  
以て作、  
海辺の山林、  
民、  
水、  
圖、  
ハ、  
て、  
皮、  
又、

文庫10  
7368  
3

任より民の嶺山より錫を振りし。他國の高貴と並及び陶器を交易  
し上り許多種類ありて屢々相戦ふ各部頭長あり然れども各部頭  
長より特権あり所の僧あり衆人見れば恐敬を是と「ドレド」と言  
ふ其教造化主と崇奉之亦自ら知らざる。因り正實偽詐相  
交へて教導も能く林中に生る草木を以て病を治するを知ら  
又木材銅鉄よく兵器日用の器物を造り政法を造る。英國の史  
事又ハ日月星辰と詩賦。樂器を以て是より調へ歌ふ「ドルイド」  
殿堂の礎石「ストーンヘンジ」地及び他の各処今尚存あり然るに尋常  
の僧ハ林中に住し。以て禮拜を橡樹の蔭下において行ふ。若  
若し「高生木」の此樹に生る時盛宴を設け僧長より白服を着樹に登  
り金造の鎌を以て是を伐り丁重に貯へ置き以て貴重品の以て而し  
て白牛を供し大に歡樂せり。又此の僧は恐るべく暴悪なるもの  
あり供物として許多の人民を焼殺し。高聲小歌を歌ふ。其  
痛叫の声を壓倒し此のとき暴悪に禁止せざる能く。若し自ら止  
む能くばして外人に此國を奪取せらるる事あり。其後ハ  
遂に外國人此處を奪取せらるる。

此度前編砲術の續と出まき。苦るる。此事を企て。イギリスの  
軍官久々他出。歸着る。用度繁多。ハ次の出板。出まき。  
三編出板乃後「イギリス」シニガポール。飛脚船。六月十五日。日本五月  
横濱。着る。四月廿六日。日本三月。其の新聞紙。英傳信機。以て得。五  
月十四日。日本四月。其の新聞紙。を持来せり。

英吉利國 イギリス

太子の妃病氣全快せり。此ニ又女王の女「ヘレナ」イギリスキリスト教。四月十四日ニ男  
子と誕生せり。  
イギリスの屬國「シメイカ」南北アメリカの間。島の奉行吟味。数多の  
黒奴を殺したる罪。陥入んとせり。が全く裁判の間違へり起る。度知りて漸  
々此罪を免る。其仔細を尋ねる。頑狡に黒奴ども一揆を起し。島の  
中より数多のイギリス館を焼拂ひ人殺し。此の島ニイギリス人より々  
黒奴又「難色」の人多くして。近き辺ニ援兵もろく甚危き故。是を禁制せ  
んとして。嚴刻に爲す。尤の。と思ふ。其故ハ奉行する者一揆  
の頭と召捕へ仕置して罪をも。其他のイギリス人の。其の多の黒奴  
乃命をも救ひる故あり。

「アイルランド」といふ所の一揆は、尽く追捕とらへり此國の人民乃共和政治と  
らん叛謀興一なるハ極愚るるなりと云ふ一此一揆の徒黨、先年アメリカの兵卒  
とてあり者、アイルランドにアメリカと云ふ所の也此頃の新聞紙、擒とらへり一揆  
の頭ハ紅明ハ変心ハなる者あり其中二人ハ最早死罪と極りしなり  
日本の獨樂俳優雜戲技毎日数千人の見物とて皆その不思議ニ感心せむあり  
リイギリスの太子及び王族も見物せられしなり

「エーデンブロー」といふ所の大名ハイギリスの女王の次子にして屬國の「オーストラリア」辺  
より諸國を偏歴せり日本支那も多分その所なり日本ハ此の如き蠻  
客の尋來り時ハ日本人乃諸國を偶待饗應せられしと思ひ捨て置ざ  
ることを希ふなり

佛蘭西國 フランス 南魯臣國 プロイセン 和蘭國 オランダ

「フランス」の太子歳難病して甚危きなり多分全快なむべし太子資質伶俐に  
て成人の如しといふ若し萬一のいわざ、垂老の帝嗣子たるの難出未らん  
フランスと「プロイセン」の間の議論、土地争ひ也「フランス」の領分「ルクセブルグ」と  
いふ土地ハ「オランダ」の本國より「フランス」の方近し「オランダ」王去年「プロイセン」と  
諸國と棄ひ取り見て此地も棄ひ取りたいと恐て千六百万兩を「フランス」に賣らんとい

去りしも「プロイセン」ハ北「シエル」ニ一の合衆國と稱し「ルクセブルグ」ハその「シエル」  
「ニー」の内を此事を承知ぎ、此に於て「フランス」にてハ戦争の用意以  
為し新發明の「チエス」ホットライフルといつる鉄砲を五十万挺「イギリス」乃  
「ビルミニハム」といふ所ニ注文し退復する兵卒を尽く再勤せしむ「プロ  
イセン」も南北「シエル」ニ一の「オーストラリア」ハの軍卒を盡く合戦の支度以  
為し「イギリス」より是れを承知して「フランス」と「プロイセン」と大騷亂起しんとす故  
に「イギリス」にて評議の爲「ロシア」「フランス」「プロイセン」「オランダ」並に他の諸國を  
「ロンドン」ニ招待して穩便ニ處置せんといふ又女王自ら書翰を認り「プロイ  
セン」王に贈り平和靜謐と勸めり此頃傳信機を以て屏る新聞  
紙も「フランス」「プロイセン」戦争小なり「ヨウロップ」の諸國評議して「ルクセ  
ブルグ」ハ兩國とも彼此も屬するべきと正当なる「オランダ」ハ屬するべきと取  
極りしなり

第那瑪爾加國 デネマルカ

「オランダ」「コンスル」に「シエル」に「ブルスフル」グ、るる人日本と「デネ子マルカ」との間ニ周旋し  
て條約取結いし事此事已ニ「デネ子マルカ」の新聞紙に出たり

澳斯太利亞國 オーストリア

日本支那「サイアム」<sup>暹</sup>と條約と結ぶん為小使節を送んとして蒸気軍艦  
「タニユーブ」<sup>船名大砲</sup>並ニ「コルウエツト」<sup>船名大砲</sup>を當時「ポーラ」とする地を頻りに製作  
せり此の月本國を出帆せり此の使節ハ高名り「アドミラル  
フオニウルレルストル」<sup>モニシ</sup>と云ふ人多ク諸國を徧歴したる碩学の人なり

西班牙國 イスパニア

近き頃此國にて「トルナド」クウイニウイクリアと云ふ二艘のイギリス船と一船ハ密  
買船一艘ハ「イスパニア」と戦争キリ國<sup>南アフリカ</sup>を援けんとする船なりと推量  
したり此の船にて奪ひ取り乗組船頭を盡く入牢せり此の船は「イギリス」より  
度々書翰を以て詰問せり此の船は逃さんとす返答の遂ニ「イギリス」より軍艦  
を指向け戦争ニ及ぶんと欲故ニ「イスパニア」政府より「ウイクトリア」の船頭を  
小赦免金を與ふるに決定せり「トルナド」船も近日決定せり

羅馬國 ロウマ

「ロウマ」法王二百年前日本より耶蘇宗門に入り刑罰せられたる二百餘人の者  
と成佛得脱せり

合衆國 アメリカ

北アメリカの「ロミア」領分ハ已ニ買入る事小決定せり此如乃隣國なる「カナダ」

ハ「イギリス」アメリカ「イギリス」兩國ニ大切なる土地なり荒蕪なる國なり土地の人  
民ハ不馴るる猛悪人種なりハ「アメリカ」を領分とするも「イギリス」より  
交易の爲り入用の領地太平洋の海岸に数多ある故ニ更ニ困却せり  
先年アメリカの合戦の時南部の監督「ジョエエル」デーウィースと云ふ者入  
牢を許されて若し再び詮議の事ありて召ぶ時ハ直來せりと命ぜり  
「ミシシッピ」とワウ川あり洪水を溢せ出で砂糖綿の畑を流し今年ハ作ら  
能く且數百人の溺死ありと云り

「セントルイス」と云ふ知りて頗る大なる逆旅焼失し其損亡百五十万ドルの上ト云  
北「アメリカ」と「アジア」の間陸上傳信機を渡さんと企んども金主社中  
の不足故ニ止り

カナダ國

「アメリカ」土人「インディアン」の中も盡く理非を辨ぶるのみ小わりの又善良なる  
者もあり己ニカナダの新開紙の中ニ「レットレガル」小住居する者より「イギ  
リス」の太子ニ書翰を贈り招待するの文面甚だ奇なり之を笑ふ一樺  
樹の美しき皮ニ紅と藍と白と金と認りし其文ニ曰



香港

大なる牢屋あり支那罪人尤多一皆衣服を削り二人毎不足り  
鑿を付つるぐ自在を人外へり事々々は是を毎日人夫をき  
ふ道路の普請皆罪人の役りり罪の輕重に因て年限長短わ  
り政府の道普請家作乃人夫より石垣と積り残りの石或  
細く砕き道路の下に入れ其上へ土を載せ大石を以てお固む何如  
から大雨とくとも往來の水の事々々は皆英の政府より  
司らるるり如此法ゆへ罪人身体壯健罪を免るるり後直り各  
職分を差支るるり病人をくさるるり牢屋中尤清潔廣大るり既  
二月月中

大君の賢弟も此牢屋中残り御覽ありと云ふり香港を  
英乃政事ゆへ乞食をくさるるり廣東へ支那第一の盛地といへも  
香港より遠く及るるり道甚狭く大雨の時ハ水湛ひ往來する事能  
から道路不盡く石を委るるり少感るるるり既四月月中廣東城中  
大雨を洪水一老人子供水に溺りて死るるりのあり

ベリリー先生の新聞紙を覽るるり諸人の行跡褒貶甚嚴るり

國政の一助るるり尤多一感佩する故小此ニテ条と此の後乃新  
ゆ紙に選へと請ふ「アメリカ」中「ロングアイランド」僕前年ウヰンリード  
るるりの送るるり依て彼國に遊び實見する所るるり更ニ書語をわび

ベリリー先生

八戸順叔

三維斯島 サントウチ

國王「カメハメハ」アメリカ人「ウヰンリード」と我國の「コミッシヨ子ル」と云ふ役と  
一横濱に在留する一此の人横濱に住居する久しく日本人と深く交  
と結ぶ生るるり純善正直るるり交るるり皆親愛を此度「ウヰンリード」の  
周旋はく日本とサントウチ嶋と條約を取結びたる因に此國の土地風信に付  
て面白く話わゆるるり新聞紙の出板延引るるり故に次に出るるり  
三編「ボレル」鳥の人四五年前にハ文字をわびるるりと出せり四五  
四五十年の誤るるり今度是と訂正す

日本國

イギリス、フランス、アメリカ、オランダのミニストル 大君に拜謁し大坂より  
歸り新港の取開ハ決定する去るるり北國の海港ハ未だ取極るるり「カプテ  
ンブルロク」と云ふ者と「セルベント」船乗を彼地送りて宜き地場を見定るるり

めんとは諸國「ミニストル」ハ箱館等へ趣きたる後北國へ廻り「カフテ」ニブルロ  
小達ひく新港と取極めんたるなり

西洋第 六月十三日日本五月十一日到着する「フランス」飛脚船「日本」より「ロシア」使  
者より「小出大和守」並「外士官数人」帰る者あり「ベルジアム」ミニストル「イタ  
リヤ」ミニストルも同船より着せり

次の々条ハ横濱出板の新聞紙より得たる當地在留の外國人ハ定て喜べ  
「イギリス」人「ヨリ」フアニ先年日本と條約を取結ひし「ロル」ハ「エル」ギ本國の評定所ハ外  
國掛りの「ミニストル」二次の々条の實否と問ひ正さんとすモハガキ「日本政」ハ

「フランス」ミニストルより兵器並兵士の衣服と製し送り送る「約束」又日本  
商人黒羅紗並兵器ニ屬く物を買ふと禁制し背けハ過料と出さ  
るめて皆「フランス」より仕入らん又餘計の銅出板を公に拍賣するも條

約ニ背ひて外國政府へ拂の爲小遣りする此条より去きし「フランス」  
ニストルハ其國の商人「クレ」乃考ふる「言」ハ必定り然し「江戸

交易未だ取開さざるは推し廉あり此「クレ」ミニストル」の爲小遣り  
江戸、往來し非常の利を得たり爰ニ近頃本國へ帰りゆきたる「イギリス」國の

商人あり「ヨリ」フアニの實説を知るを來るべし

### 日本の開化の域に進む手段

國の強弱ハ唯兵力の多り少るに當り當時西洋諸國と尤盛るる他の文教  
器械諸術とあり今日日本と此の事とありや恰も好く時と逢あり

「イギリス」國の政事ハ教育と專る風俗と正し人民の死せぬ手  
當とふし商賣と容易く蒸氣車並氣船傳信機飛脚屋

等と盛る頻りに新し製造場を作り金山銀山或ハ農業  
の仕方を開く但人ハ日本とイギリス國の富一極るや何処より

諸物と製作する金と得んやと云ふべし去きし二百年前「イ  
ギリス」の富ハとも日本に比し富たざるも當時ハ五ハ世界中の大國

富國とありしは淺見を以て日本の富んとも難くはらるなり「イギリス」  
乃富る所以ハ外より專に入費と省き治世の時ハ兵士數百人

軍艦とをも甚しナリ趣意ハ專に國民を教化するにあり昔々書  
物の價も最るなり富人と云ふも買ふや終るべし「プリンティンク」

プレスと云ふ板と摺る道具の傳ふるに至り其價以前の百分一より安  
きなり是も因り教化忽ち國中に遍り又蒸氣の力を考へ  
出さるより諸奇衆珍日増し月生し今當時に至り諸物と製

キメワキタイ



造らる此の力有り蒸氣車並氣船傳信機を製造し此の諸器  
集合して遂に驚駭すべき盛大の商賣を成就せり然れども若し  
英國此の諸器製造に用ゆる鉄銅石炭亦るれば是を造りしるも  
少しをかりの用るるべし爰に天より日本に與ふ數多の金銀銅鉄を  
以て是ら日本の大幸とす之れは地中に隠れて現出せぬ余  
日本にても「イギリス」國の如く天の與ふを此を取らば却て殃戾  
受くる時ろるべし此の金銀銅鉄を開き傳信機を製し蒸氣車  
と造るるは以前「アウスタリア」の「ミニストル」より「イギリス」國の「ブルック」と  
以て人の能くする處より此人其事の製作を請負ふべし此「ブルック」の書記  
て「ミニストル」贈り「ミニストル」より日本御老中に達せしを聞て此を記せり  
又數多の諸侯も國益を開くとあらば世話も當り日本に來り居る「ブル  
ック」此新聞紙は是より加へて諸方知るるより政府も此「ブルック」乃  
事を用ひく此の秀美なる國を開くべしと望む且江戸も横濱迄  
の傳信機の製作に近頃「アメリカ」教師「マダガスカ」の言ひ入費より  
ハ其價安くして已に半分なり又「マダガスカ」の用法を教ゆる二年間と  
怪むべし二月も教へるげ成就せらる疑り

我輩本月布告より外國人と日本人との爭論を取纏る主意を裁判の  
法とせし事有り右ハ實に「ブルック」法より日本裁判人の裁断を公平乃  
裁判と請ふ外國人の意見も通る事と最初ハ思ふるべし  
然るに松木屋金七と相手取り「ブルック」ロビンソンの一件は其裁  
判と横濱の外國臣民の内又當港より出版する新聞紙中掲げ説  
も一般に是とせざるを疑ふを容るる右新聞紙の説と萬國を讀む  
右爭論ハ天鷲絨の事にして日本商人外國より天鷲絨九十五と  
買取る事と約束あり右約定書より右荷物引取方の慥らる日  
限と載る又船中ニある荷物と陸揚する事ハ種々の手数あり  
事と云ふ思ふるに糾問の時日本商人右荷物ハ「ブルック」の納屋  
中ニある事と思ひ且同日右荷物の渡り方を未りし右荷物ハ船より  
直に陸揚する旨と「ブルック」同人に告ぎし旨は同人に告述せり  
且其後同人尚兩三度右を未りし未だ右荷物陸揚し何れより  
右同人右荷物と要する時其荷物と得る事能くするべし  
依之同人不約定と違背する旨と告ぎし  
然るに「ブルック」ロビンソンの語人と連名ありし證人右天鷲絨ハ陸

ニ何れ且同人右只物と二日之内小請取能之ニ了らんハ同人  
右品物と二三廻の間ハ得ル事能ふル旨と仰り森木屋告け  
一旨と誓ひ告述さる

裁判所ノ裁断ハ右天鷲絨ノ半高と松木を引取り其價以  
拂ひ残り半高とウ井ルキン、ロビンソンの方ニ留置べきと仰り

右ノ口と双方の澄人々々双方合体の裁判所と誓ひしハ  
恐らく右裁断ノ内面倒の起ル事聊るニ一公の裁判所ニ

外國人の方而已と誓ひしハ日本人的方ニ其證據と  
私ニ取り日本裁判役の執頭と是と承諾さる相手方と嚴密ニ

吟味し事々々充分の度實と得ざる事屢らるる明瞭なり  
故ニ公平の裁断と請つた外國人の意見見ニ抑むる右様の日本人

乃此の證據と益ニ屬さる  
當時御奉行より横濱市街ノ汚穢の溜積ハ人の身体ニ宜ハ  
ず殊り酷暑と甚しき故尽く掃除さるハ實ニ外國人の感謝さる

如こ疲疾の流行も忽ち止む

### 絹の製法

日本産の蠶を買込て持行き能く世話して養つても暫時して性質  
変り其絹宜くは近頃世界中て名高き分離家コレイビツグと  
るもの是と委細小検査して全く培桑の法乃精ハ故ニ因々としり  
日本の培桑法「ヨウロツバ」ハ遙ク功手るれを極上の蠶と産する故小  
日本乃培桑法と習ふと告げ知るるりれも絹と練るは  
未だ和女ハ其法を是と習ふるを此上も最上の絹と生るるるを  
一當時世界の絹商人皆争て美種と出さんと其故小美  
品と製法を出したるハ利益と得る能く

### 有眼の損

此項イギリス商人野澤屋とよ者ニ絹と買入んと約束然ル處ニ品  
物見本と大々小相違るんを其仕方盜賊ニ似たりと云ふ野澤屋の番  
頭のつらハ其眼を盗るるを欺さバ盜賊の所業るれも眼を  
うば左程の得るもあらざると  
當時定確ハ外國船三十五艘内高艘二十七艘軍艦イギリス四艘フラン  
ス三艘アメリカ一艘あり

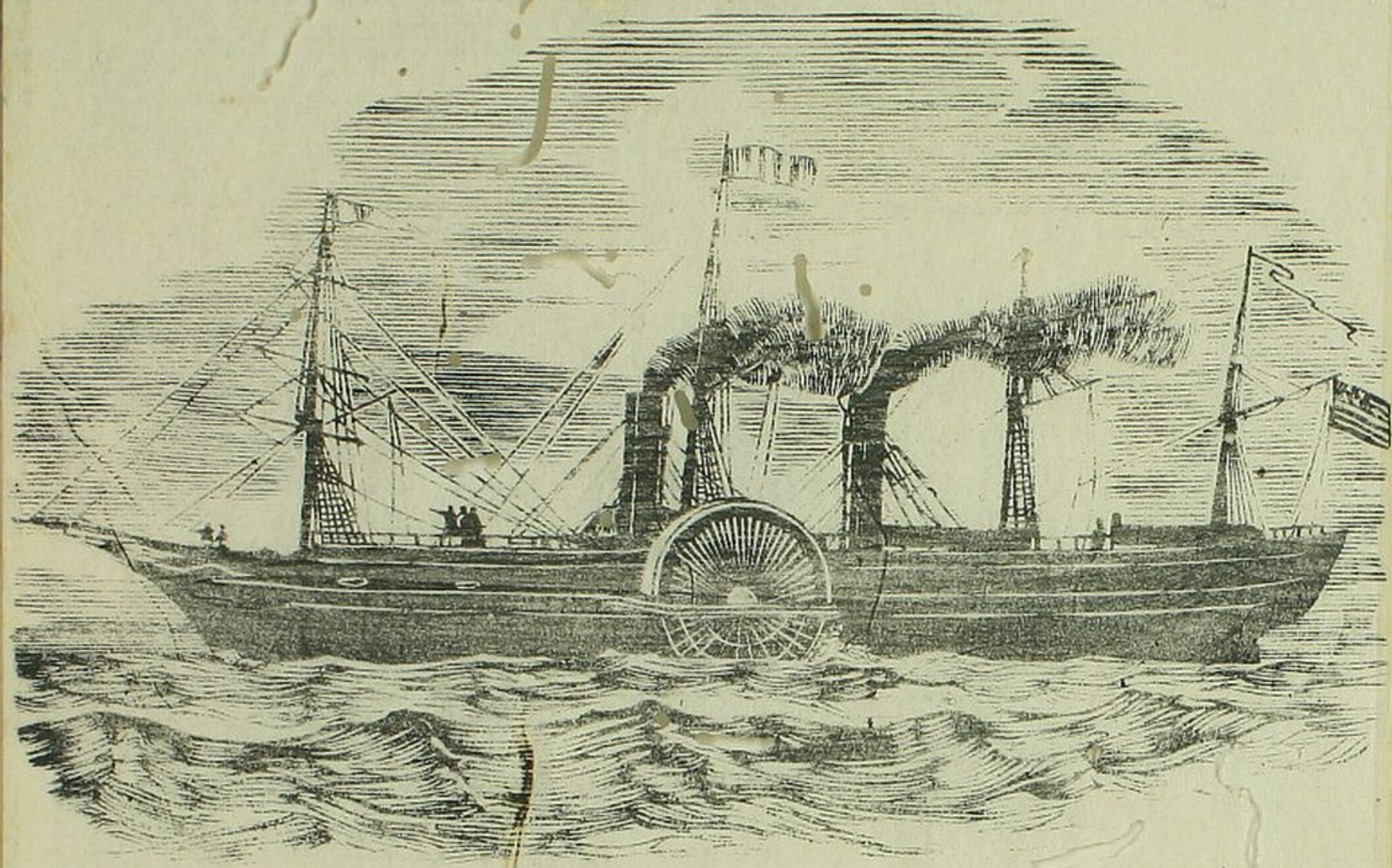
外國諸物價相場

ヨーロッパより來り傳信機の音信よくハフランス國とプロイセン國の戦争ハ人々無事と望み願ふ者とも併し他より來る書簡の趣も戦争に起るといふ大業を恐るゝ是説よみて日本生絲の賣買大に不景氣なり尤次の飛脚船の音信も矢張ふけいさとならふ也其等の為りロンドンに於て生絲夥しく持合せ有之内にも日本生絲の品類甚麗未だ織物液世の者や多くハ是と買ふは若くは一同小極精製上好の美品を作り出さるゝハ甚喜ぶ事ろんと云且又日本生絲の作りり方外見小美るゝのミにて肉ハ甚悪しき品とつかくこと云此に因て日本産の生絲を買ふべしと却て外國の生絲を買ふ事多し  
ヨーロッパに於て日本産の茶は曾て好まざり只アメリカ産のミありアメリカより言信小近來日本茶の價大に下落し古茶の品ハ故て損失ろんと云  
當横濱に於てハ他國より入荷物の高賣曾て多かり只木綿絲とカ子キン木綿のニ品價を聞尋らる人あり仍てニ品の價少萬事

比の生絲より鉄筋より其呂大ニ安價なり其餘の品も於て皆安價也黒羅紗七百ロイス賣付りフランスと約定する事ハ廢ぢりたりと云ふ云米余程多かり横濱に持來り賣拂ふりり價も又安し百斤に百ドル六分より三ドルと砂糖ハ又安し新生絲の出來る時價を格外に高くしむ上只るハ此港の交易を多く感うんと思ふなり外國人ハ其生絲を日本種ハ外國持液りの品ものを買はん併し日本人より於て今年の生絲心を用ひむんハ高賣危し其子細ハ今年支那國に於て作り出さる處の生絲去年より一倍多しハ外國よりハ多分出荷ありんフランス國プロシア國との戦争止むハ今暫時の度ハ必戦争に及ぶに付て生絲極最上の美品にあらざれば賣れまじ此の如く生絲の景氣を知らざる上去年に同じき廉品を作せざる必外國人より買ふあらん







亜国飛脚船「コロラド」第七月廿五日横濱来り  
 香港 船主八月十五日横濱又横濱小来り日逗留て  
 カラシシハ己三回公此也  
 香港 上等客百五十ドル中等百ドル支那中  
 等六十ドル下等五十ドル日本下等三十ドル  
 横濱より「サンフランシスコ」港まで上等客二  
 百五十ドル中等客百七十ドル支那中等  
 客百ドル外国下等客五十ドル日本下等客五十ドル  
 ニ「ニューヨーク」まで上等客四百三十五ドル中等客  
 二百八十五ドル下等客百五十五ドル  
 外附属の荷物上等客二百五十ポンド  
 中等客百ポンドと載る事と許す船中  
 食料衣被其他入用の諸物料右價の中より但し  
 酒別料を出して得て此飛脚船は海外諸国と遊  
 観する時其船大く且堅固なる故に風雨の  
 患ひ甚少り又毎日船中を掃除して決して

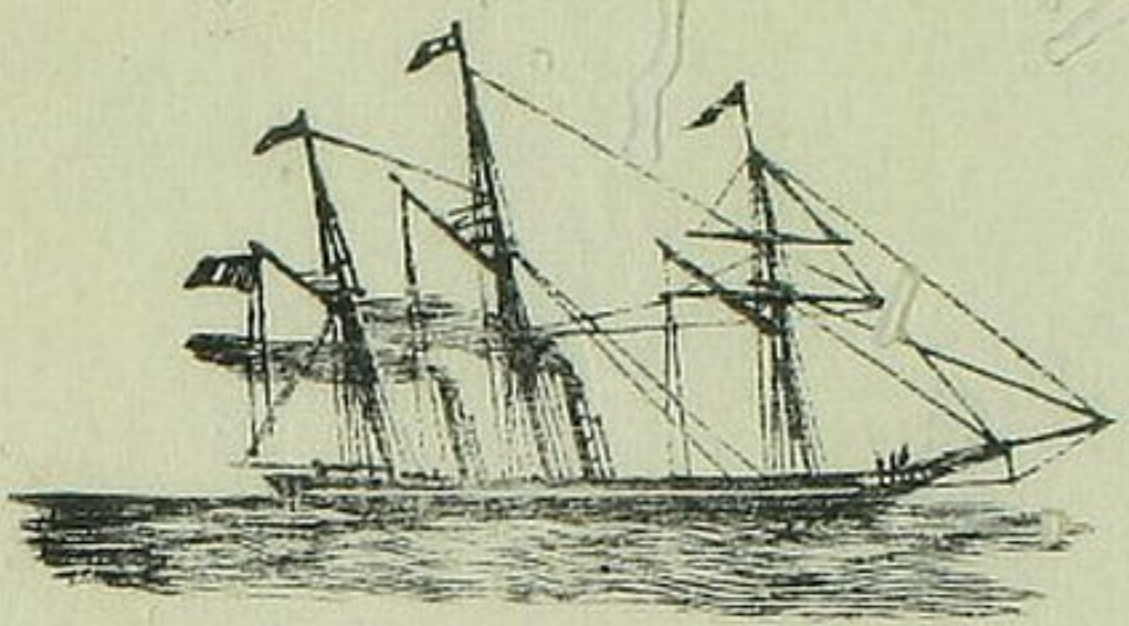
夏物又、黒羅紗衣破綻一組お瑞へ白襪衣、ラコ子ハ袖ハ  
 下股引襟白臭拭手袋足袋皆長吉両衣杖鞭馬具と類列  
 着は向ハ示し預備、車願ハ猶又ハ注文成り、急取ら取  
 寄ら、立可了後且衣被付立は、用ハ作付、ハ以上  
 横濱本早通五十二番  
 ロス下下ウイルマシ

私儀此度太田町八丁目百七十五番轉宅仕仕  
 私店、金銀時計、螺旋鏡、短鏡、花火、薬玉、電気箱、度目器、減算  
 器、高賣仕、同、買求、程奉、布、其外種々、武器、注文、ハ、本國  
 取寄、長、上、可申、且、亦、時計、飾、玉、直、仕、同、来、駕、願、上、ん  
 横濱  
 時計師  
 フーガルランド

私店、癩病及、疔瘡、其、母、ハ、薬、ハ、ル、サ、バ、ル、ラ、根、の、エ、キ、ス、ト、ラ、ス、ハ、疥、癬  
 と奇薬、此、中、ハ、同、買、求、願、い  
 横濱、本、早、通、ハ、一、二、番  
 ハ、ル、リ、リ

不潔うし、あつ「カリフォルニア」ハ世界第一の金と産する地を若し餘金の  
 の貸わりを間暇ある人を往て一覽せらる可く、人尚此の飛脚船の本曲と  
 謂ふんと欲するを海岸通四番「フィンニー」に訪来すべし

亞國 飛脚船社中



佛蘭西の火輪船毎月六日七日頃本國より「已  
 チフト」印度支那と經て横濱小来着る此  
 船横濱小三日破泊の後十日十日頃支那印  
 度歐羅巴へ趣、旅客或は書翰荷物等  
 載て出帆を若し、書札金銀荷物等を送  
 ると欲し、又自ら航海せんことを余々宅と  
 來し、金一

「カリフォルニア」社中出張

横濱沿岸十番

ワス

外國へ横濱、住居改者、日本へ、アメリカ、英、露、  
 ロッパ、野菜物、工作、機、多、利、多、地、気、候、宜、野、菜、物  
 不、業、内、之、移、宅、迄、出、て、取、寄、の、細、目、且、又、其、種、と、本、國、  
 取、寄、の、度、う、て、手、紙、と、傳、ふ、也、取、寄、の、目、

横濱

百一番

ペーリー

パンピスケット ボットル なるや物 移居、なるや物 多、少、の、水、と、氣

横濱

元町一丁目

中川嘉嘉兵衛

私店、白、蒸、氣、船、種、器、械、蒸、氣、車、道、製、造、道、具、六、小、砲、施、條、銃、短、銃  
 火、藥、彈、丸、耕、作、道、具、書、物、衣、被、其、外、總、て、の、高、貴、物、英、外、國、產、物  
 何、等、の、國、許、の、取、寄、の、差、と、り、買、求、の、移、宅、祈、り、且、又、日、本、土、產、物  
 世界、中、何、國、の、運、送、致、一、賣、捌、き、の、間、是、又、以、用、の、何、れ、に、  
 手、願、以上

アメリカ、ニューヨーク、并、サンフランシスコ、出店

横濱 四番 先日 八十一番

番頭

ウィルリヤムホブリ

私受書及海岸通以前三番に引移す

横濱

三番

ワイルキン  
ローベルソン

私店外國商賣品物多し其は是れ拍賣の官に於て其の形

横濱

二十二番

ボールン

學校書 英文法書 地理書 算術書 點竄書 測量書 辭書 航海書 別本  
日本支那朝鮮亞細亞西亞通海路島風候略纂等 舟行の海路を記載せし  
書右何れも新刊書物にして其の用は甚しき以て求むる者多し

横濱

八十三番

ハルトリー

私以前和英海軍外科醫の役ニテ年ありて横濱に在りて外  
科の同業は其の及各國一般の病院と建て各國貴賤を別  
療治者病は其の病院地場を以て別名を以て商人の買入るる  
其又療治科の材料を以て別名を以て買入るる病後  
乃て百五十番迄の書物にして其の用は甚しき

横濱

ヨング  
メーグ

獸類の骨塵草々雜りたる樹木穀物小玉極細の肥

横濱

百六十六番

ジラート

和英對話通辨書 此書ハ英國の子官老達先生の著し其の所し方  
今日用の會話に速く通達し其の便利なるに尚ぶ故に専ら簡易な  
通俗語を用ゆ且會話の次第を列し毎月小冊一巻宛出板し和英の對  
話に通さんと欲する諸子是と報告する若し亦さんと欲する百六十八番  
列するなり

- 一 黒羅紗上着
- 一 月袖無<sup>チヨツキ</sup>
- 一 月股引
- 一 白短くさ上着
- 一 白麻股引
- 一 白袖無<sup>シ</sup>

- 十四ドルの二十四ル迄
- 四ドル
- セドルの八ドル迄
- 二ドルの二トル半
- 三ドル
- 金縁の文の好次第

右の品は海山の品に且諸品恰好は之は同様の文を刻す

横濱本町通 五十三番

ラダーシ



弁天通丸圍屋二月十二日西曆七月二十五番英商「ボルナルド」と廣東白砂糖五百斤一打ナドル宛と約束し先手付金五百ドルを拂ふなり期日より一月餘待とも未だ引取り又價を減らさるも引取り如  
此の時日本商人相場の損ハ皆西洋商人の損なり

横濱 七十五番

此新聞紙此度と本々  
贋本と翻刻致者有  
引受者有  
此新紙若賣捌  
引受者有  
致一相後  
早速  
是又枝  
以上

此新紙若賣捌  
引受者有  
致一相後  
早速  
是又枝  
以上

神奈川奉行各國コンシユと協議の上海關の取扱并當港に於て他の事  
業に更らに簡便小

第一

第十月一日の第三月三十一日と第六月十時より第四時と第四月九日九月三  
十日と第六月九時より第四時と海關を閉く

若余儀らと事ありて第四時後荷物と陸揚せん其事を午後第三時  
半と運上所の告示に  
臨み荷物と  
改め通る  
第四時後相當の間海關を閉き置べ

第二

輸出入積返り船移と初出入港手数願書免状以外の各書都印刷定  
紙を用ゆべ

第三

海關を徑て荷物と引取付三日の猶豫を許さる此期限を過ぎる時其荷  
物とエンテポット小納め右都の費用ハ荷主或ハ引請人より出さるべ

第四

海關の休日ハ吾國人尽く守らざらざら祝日のことして從來吾士官の

守り一日あり

右祝日の目録を年毎の始に海関に掲張し且其寫を各コンシユルに贈るべし

附日曜日西洋才一月一日又モキリストマステールを運上所へて休日と爲す

第五

荷物と運送する人と載るる貨論を以て受の人より船の業と許すべし  
水夫等の等閑より陸揚船積の荷物より損傷起す時右損傷を右水夫おとさ  
て償ふべし然れども右と償ふ力なき時其水夫と吟味し相當に罰せよ  
荷揚荷積し用ゆる船より温濡を妨ぐためタルボロニ其或ハ他乃適宜の覆  
蓋と可成丈々用を以て一人を載るる舟の定價ハ既ニ設けらるる

第六

人足と雇ふ事なるを既ニ官許を得る人足頭の數小限し以て托を受るものハ強壯  
の人足小と備へ又荷物と多難小運送し渡りしと請負よべし然れども是より  
人足頭のも錢借し以て雇ひ得るべし

第七

太田公ハ既ニ廢し其小使を取るとき錢ハ拂ふべし及ぶる也  
各國人小抱りし小使并々何國のものにて請人ハ誰りとも其趣町會所へ届き置る

命一三三

西洋一千八百六十七年第六月

神奈川奉行

慶應三年五月十三日

布告

スクー子ルワンドルルにて熱海、往返する趣新聞紙ありと雖ども右日本政府  
にて免許する事若許を受ずとて赴くものハ條約と背く此罪を以て

慶應三年五月

横濱役所

布告

横濱本町五丁目住める佐野屋直助ららの各人取結び約定多々ハ  
不相果速弱屢起り夫々為る各國人も迷惑を起し許沼及ふ  
事度々有る我輩亦く患ふ所なり畢竟同人身許薄く勿論免  
角見据りて約定せし故右移る事にも至り依り吾國人直助と  
約定ハ危しと思ひ代價引替取引之内容易に約定せざる事

於横濱役所

訴詔掛士官

往年英吉利政府ニ仕ヘ諸物製造殊ニ金屬礦物農業貿易等ノ習慣  
セ一壯年の英人あり適當ニ一々聘幣ニ以テ日本の諸候ニ仕ヘ人事ニ  
要ニ讀書教授も施スニ得ル一是ニ成功ヲ一未ダ有ラズ數多ク其吏業徵  
據トモ告ケン若一委曲ニ聞クんとせば百一審ニ指示ス

英国教師ドロー先生日本貴公子の英学  
小志あり者小教授トシト欲ス先生子弟此  
教育ノ熟慣ビリ先生英國カテリ<sup>地</sup>の  
大学校ニテ修業一此の大学校ニテ学藝  
上達の為小多ク其俸給賞ト得ル故十分  
の教授ト与ル支ト得ル若一已むこ  
ト上得ル一英國小趣クんと欲セ亦  
為ニ周旋ト云一教授料多分小受け  
テ又西洋書籍ト持セる者少ク別ノ料  
ト受ル一借一教田云一

横濱

百一番

發 行 書 肆

横濱本町通半三番

ハルトリ

箱館

テユース

同太田町三丁目

大黒屋茂兵衛

江都日本橋四丁目

泉屋半助

同豹形町

伊勢屋勝郎

上州桐生五丁目

吉田安兵衛

同赤天通五丁目

師岡屋伊兵衛

同太田町三丁目

升屋常吉

江和泉橋藤堂辰前

大倉屋喜三郎

江都芝神明前

岡田屋嘉七